

未来に責任を持つ政治公明党

大口よしのり通信(号外)

大口よしのりホームページ ▶ <http://www.oguchi.gr.jp/>

2018年 春季号



衆議院予算委員会(第8分科会)特集



▲衆議院予算委員会で質問する大口議員=2月23日 国会内

国道1号浜松バイパス6車線化・高架化へ! 国道1号由比一蒲原地区に新ルート整備を!

大口よしのり衆議院議員は2月23日夕刻、衆議院予算委員会第8分科会で質問に立ち、国道1号静清バイパス清水立体の整備促進、国道1号浜松バイパスの6車線化・高架化など静岡県内の主要幹線道路の交通渋滞問題や清水港の整備について取り上げました。

中でも1月に起工式を行った静岡市の国道1号静清バイパス清水立体の完成時期の見通しについて石井大臣は、「早期完成を目指し整備を進めてまいりたい」と答弁、また慢性的な交通渋滞が問題になっている浜松市の国道1号浜松バイパスの6車線化・高架化については、国・静岡県・浜松市等の関係機関から成る国道1号浜松バイパス連絡調整

会議を新たに設置し、「平面6車線化や立体化を含め検討を進めてまいりたい」と述べました。さらに清水港日の出埠頭の大型クルーズ船が2隻同時に接岸できる岸壁の整備については、「改良に向けた設計が終わり次第、現地着工したい」と答弁しました。

このほか大口議員は、中部横断自動車道の開通時期、国道1号由比一蒲原地区の新ルートの整備、伊豆縦貫自動車道・東駿河湾環状道路の整備促進、国道138号須走道路、御殿場バイパス西区間の2020年東京オリンピック・パラリンピック前の開通見通しなどについて質問。これに対し国土交通省より事業を促進する旨の答弁がありました。

国道1号通行止めによる興津～由比～蒲原地区の渋滞解消を！

国道1号静清バイパス清水立体の整備促進を

Q. 大口議員

清水立体事業の完成時期の見通しについて伺います。

A. 石井国交大臣

清水立体区間については、前後の区間と比べ速度低下が著しく、早期の立体化が必要であると認識しております。



▲国道1号清水立体起工式で挨拶する大口議員＝1月28日 静岡市

国道1号由比～蒲原地区の越波対策や新しいルートの整備を

Q. 大口議員

昨年10月23日未明、超大型の台風21号の越波の影響で、国道1号と東名が通行止めになり、興津、由比、蒲原地区は大渋滞で市民生活は大混乱しました。平常時、災害時を問わず、安全かつ円滑な国道1号の交通を守るため、越波対策や新しいルートの整備が必要と考えますが、大臣のご所見を伺います。

A. 石井国交大臣

この区間は、台風などの際に越波による飛散物の影響で、通行止めが発生する課題があります。現在行っている対策に加え、東名や新東名などの利用状況や災害時におけるネットワークとしての役割分担も踏まえながら、新ルートの必要性を含め道路ネットワーク全体のあり方を検討してまいります。

中部横断自動車道 新清水JCT～南部IC平成30年度開通

Q. 大口議員

中部横断自動車道の開通時期について伺います。

A. 石井国交大臣

新清水ジャンクションから南部IC間及び下部温泉早川ICから六郷IC間は平成30年度の開通を、南部ICから下部温泉早川IC間は平成31年度の開通を目指していますが、具体的な開通時期については、トンネル工事の進捗を踏まえて確定していきます。



▲開通にむけ工事が急ピッチで進む中部横断自動車道 新清水ジャンクション付近から山梨県側を望む

清水港日の出埠頭「新第2バース」の整備促進を！

清水港日の出埠頭「新第2バース」着工を

Q. 大口議員

清水港は、クルーズ船の寄港回数を2020年に90回、30年に175回を目指しています。これを達成するためには大型クルーズ船の2隻同時接岸可能な岸壁の整備が必要ですが、いつから着工するのか伺います。

A. 石井国交大臣

日の出埠頭の1バース目は世界最大級のクルーズ船の寄港が可能となっております。2バース目については、現在岸壁の改良に向けた設計を進めておりまして、設計が終り次第、現地着工したいと考えております。



▲清水港日の出埠頭のクルーズ船 2017年度のクルーズ船寄港回数は過去最高の41回を数えた



国道1号浜松バイパスの渋滞解消へ 平面6車線化・高架化へ—連絡調整会議3月26日発足

Q. 大口議員

国道1号浜松バイパス(BP)は、磐田市と浜松市を結ぶ延長約18.3キロメートルの道路で23箇所の信号交差点があり、主要交差点では朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が日常化し、都市の活力低下を招き交通事故の一因にもなっています。この区間の6車線化・高架化の必要性や効果の検討、道路ネットワークの課題など、道路の調査を推進していただきたいと思いますが大臣のお考えを伺います。

A. 石井国交大臣

2月10日に現地を視察しまして、地域の交通状況や課題を確認してきたところです。国、静岡県、浜松市等の関係機関から成る国道1号浜松バイパス連絡調整会議を新たに設置し、国道1号浜松バイパスの整備方針について、平面6車線化や立体化を含め検討を進めてまいりたいと存じます。



▲国道1号浜松バイパスの整備を石井大臣に要望する大口議員ら=2月10日 湖西市



▲国道1号浜松BPの整備方針を検討する連絡調整会議で挨拶する尾藤所長=3月26日 国交省浜松河川国道事務所

国道1号浜松バイパスの 進め方について(案)

第1回 国道1号浜松バイパス連絡調整会議【新設】

- 〔議論事項〕
- 連絡調整会議の設立
 - 現状と課題の共有

第2回以降

- 〔議論事項〕
- 対策手法の検討
 - 概略構造の検討
 - 国道150号遠州大橋無料化(H31.9)の影響検証等

整備方針(案)決定



静岡県東部地域の渋滞問題解消へ

国道138号について

Q. 大口議員

国道138号須走道路、御殿場バイパス西区間の2020年東京五輪前の開通について伺います。

A. 道路局長

全延長8.1kmのうち2.5kmが開通しております。残る区間につきましても引き続き、東京オリンピック・パラリンピックの開催、新東名高速道路の開通を見据えつつ、地域の皆様の御協力を得ながら早期完成を目指して努力をしてまいります。

東駿河湾環状道路について

Q. 大口議員

暫定2車線区間の大場・函南ICから三島塚原IC間の4車線化について伺います。

A. 道路局長

速度低下に注意を促す大型看板の設置や混雑状況・所要時間の情報提供などの速度向上・交通分散対策に加え、これらの効果を検証しつつ、付加車線設置を含めた抜本的な渋滞対策についても検討を進めてまいります。

Q. 大口議員

沼津岡宮ICから愛鷹IC間の事業促進について伺います。

A. 道路局長

平成27年度に事業着手し、平成29年度は道路設計や地質調査を実施しています。地域の皆様方の御協力を得ながら早期の用地幅ぐい設置に向けて調査、設計を進めてまいります。

Q. 大口議員

愛鷹ICから沼津市原一本松までの新規事業化について伺います。

A. 道路局長

この区間の事業化については隣接工事の進捗状況等を踏まえながら検討してまいります。

伊豆縦貫自動車道について

Q. 大口議員

天城峠を越える西側ルートの事業化にむけて、今後の取り組みを伺います。

A. 道路局長

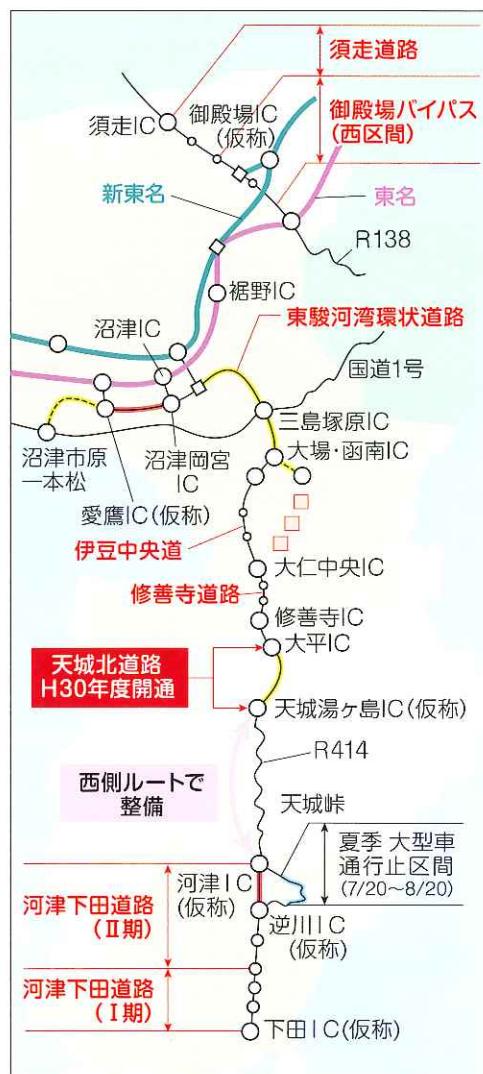
天城湯ヶ島ICから河津IC間については今後、環境アセスメントの手続に向けて、市街地の生活環境や温泉、ワサビ田などの自然環境に十分配慮しつつ、事業化に向けた検討を進めてまいります。

Q. 大口議員

河津下田道路II期の河津ICから逆川IC間の早期開通について伺います。

A. 道路局長

現道が狭隘で線形不良により大型車のすれ違いが困難で、夏季観光シーズンに大型車は通行規制となります。この課題を解消するため、当該区間を優先的に整備することが重要であると考えております。



▲東駿河湾環状道路(三島玉沢IC付近)



▲夏季大型車通行止区間(賀茂郡河津町)

東日本大震災復興支援 二重ローン対策 3年延長

東日本大震災で被災した企業の二重ローン問題を救済する役割を担う東日本大震災事業者再生支援機構の支援決定期限を2021年3月末まで約3年間延長する東日本大震災事業者再生支援機構法改正案(議員立法)が2月1日の参議院本会議で賛成多数で可決、成立しました。

同機構は、金融機関から被災した中小企業に対する債権を買い取って中小企業の負担を軽減したり、事業の立て直しを支援しており、2017年12月末時点で累計

732件の支援を決定し、これまでに被災企業で働く約

1万4000人の雇用を守りました。大口よしのり議員は公明党の「災害時における二重債務問題フォローアップ・プロジェクトチーム」の座長として2017年9月、宮城県を訪問し、村井嘉浩知事や被災事業者などから延長を求める多くの声を受け、法整備に努めてきました。



▲事業再生について話を聞く党PTのメンバー=2017年9月20日宮城・気仙沼市

成年後見「欠格条項」を削除 一律の失職、資格はく奪防ぐ

成年後見制度を利用して被後見人や被保佐人になると同時に公務員や警備員の職を失ったり、医師や介護士の資格が取り消されたりする法律上の「欠格条項」規定を一括して削除する「成年被後見人等権利制限適正化法案」が閣議決定され、今国会での成立が期待されています。成年後見制度は財産管理能力に着目した制度で、各資格や職種に求められる能力とはズレがあります。そこで、国家公務員法や医師法など188本の法律を一括して改正し、

制度利用者が自動的に仕事を奪われることをなくします。

大口よしのり議員は、公明党成年後見制度促進プロジェクトチームの座長として約5年半にわたり議論を重ね、権利制限適正化法案の基となった成年後見制度利用促進法の制定を実現したほか、制度利用者の選挙権回復などにも力を尽くしてきました。



▲閣議決定し記者のインタビューに応じる
大口PT座長=3月20日 国会内

100万人訪問・調査運動 多子世帯への支援厚く

大口よしのり議員は4月8日、静岡市内で2男2女の母に「子育てアンケート」を実施しました。大学授業料や奨学金などについて多子世帯への優遇も検討してほしいとのお話しに、「子育てに奮闘する家庭を応援していく」と語りました。



▲子育てや介護の問題についてアンケート
調査を行う=4月8日 静岡市



▲「100万人訪問・調査運動」や活動報告など、様々な意見交換が行われた公明党静岡県本部幹事会
(早川育子会長)=4月14日 党静岡県本部

発行:大口よしのり後援会

■国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館308号 TEL03-3508-7017
■静岡事務所 静岡県静岡市葵区伝馬町23-6 TEL054-273-8739

大口よしのり
WEBサイト



Facebook

